

わげんあいご  
**和顔愛語** 2004 春  
真生会富山病院だより 【創刊号】



真生会富山病院  
院長 駒井 理

地域医療サービスの向上に努力いたします。

真生会富山病院は、平成十二年にオープンして四年がたちました。日頃、当院での診療におきましては、住民の皆様、また、関係する医療機関等の方々に大変お世話になり、ありがとうございます。

医療技術の進歩、また、社会環境の変化にともない、病院や医療従事者に求められるものも変化して来ていると思います。『皆様の健康を応援します』を掛け声として、少しでも安心と満足のお届けができるよう、職員一同、日々、医療サービスの向上に奮闘しております。

今後更に、より良い医療を皆様と共に築いてゆく為に、私達の行っている医療について情報発信の場が必要と思ひ、院外広報誌を発行させて頂くこととなりました。皆様の健康に、少しでもお役にたてることを願っております。

真生会富山病院の理念

仏法精神に基づいて、  
安心と満足の医療をめざします。

基本方針

- 患者様本位の医療を実践します。
- 24時間救急診療体制をとり、住民の皆様の健康と生命を尊重する病院組織を築きます。
- 在宅療養を、全科往診で支援します。
- 各科の特徴を活かした良質な医療を提供できるよう努めます。



和顔愛語 やさしい笑顔とあたたかい言葉で、常に皆様から信頼される病院をめざしています。

真生会富山病院患者権利憲章

患者様は常に最良の医療を受けるため次の権利があり、また、その権利を常に守られることが保障されています。

- 1 人の生命は地球よりも重く、常に個人の生命、身体、人格は尊重され最良の医療を公平に受ける権利があります。
  - ・ 患者様の人格と健康に生きる権利は尊重され守られます。
  - ・ 国籍、年齢、性別、社会的地位などで医療内容が差別されることはありません。
- 2 病気やその治療法などについて納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。
  - ・ 必要に応じて診療記録(カルテなど)を見ることができます。
  - ・ 理解できない時、納得できるまで尋ねることができます。
- 3 十分な説明を受けた上で治療法などを自分の意志で選択する権利があります。
  - ・ 当院、他院問わず別の医師に意見を求めることができます。
  - ・ 担当医を選ぶことができます。
- 4 個人の診療情報やプライバシーは守られる権利があります。
  - ・ 個人の情報や秘密は事前に本人の同意なく第三者に知られることがあってはなりません。

ご案内

診療案内

診療科

内科・外科・小児科・整形外科  
耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科  
心療内科・精神科・神経科・麻酔科  
リハビリテーション科・放射線科  
泌尿器科・歯科

診療日・診療時間

平日 午前9時～午前11時30分  
午後5時～午後7時30分  
(内科のみ) 午前9時～午後7時30分  
土曜日 午前9時～正午12時  
休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

※24時間救急診療

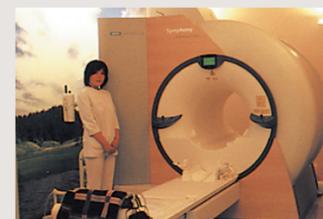
※全科往診在宅診療

院外処方せん

当院では、原則として「院外処方」としてあります。当院が発行した「処方せん」に基づき、最寄りの調剤薬局でお薬をお受けとりください。

早期発見・早期治療  
人間ドック・脳ドックのご案内

生活習慣病(ガン、心臓病、糖尿病など)や脳の病気(脳卒中、脳出血、脳梗塞など)は、自覚症状として現れにくく発見が遅れ、症状が現れる頃にはかなり進行しています。「人間ドック」は、疾患を早期の段階でチェックできます。当院では、多忙の方々のために「スタンダード(半日)コース」を予約制で実施しています。ご希望により検査項目を追加することもできます。標準検査やオプション検査のご予約は、1週間前までに人間ドック受付にお申込みください。ご利用は月～土曜日となっております。健康で生きがいのある人生を送るため、特に中高年層の方におすすめします。



卒煙外来診療 はじめました。予約制です。

タバコにばいばい!  
煙にサヨナラ!  
卒煙をバックアップ!

■診療時間:火曜～土曜日 9:00～11:30  
火曜～木曜日 17:00～19:30  
■担当医師:内科(健康増進外来) 大淵 尚

ご自由にご参加ください。ご家族で一緒に...

糖尿病教室 ■新館5階大講堂

6/12日(土) 午前9時30分～午前11時  
『くすりの作用をご存知ですか』 内科 平谷医師  
『ストレス対策してますか』 看護師

6/26日(土) 午前9時30分～午前11時  
『運動の仕方でもコントロールが変わる!!』 内科 平谷医師  
『筋肉を動かしてインスリンを節約する』 看護師

肝臓教室 ■新館5階大講堂

6/19日(土) 午後1時30分～午後2時30分

INFORMATION

スタッフ募集

看護師 ……若干名  
応募資格/看護師・保健師  
(取得見込み者を含む)  
選考方法/面接・小論文

理学療法士・柔道整復師 若干名  
応募資格/理学療法士および柔道整復師免許  
有資格者(取得見込み者を含む)  
選考方法/面接

視能訓練士 ……若干名  
応募資格/視能訓練士免許有資格者  
(取得見込み者を含む)  
選考方法/面接  
勤務時間/午前8時30分～午後8時  
(休憩12時30分～4時)

※勤務時間が各々異なりますので、お問い合わせください。

昇給/年1回  
賞与/年2回  
保険等/雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金、退職金制度、財形、定年60歳  
勤務環境/有給休暇、特別休暇、産前産後休業制度、育児休業制度、育児短時間勤務制度、託児施設完備(24時間対応)制服、シューズ貸与職員健康診断年1回職員駐車場完備

●スタッフ募集に関するお問い合わせ  
TEL 0766-52-2156 人事担当/吉田

「病院ボランティア」を募集しています。

患者様へのサービス向上のため、また地域の皆様とより信頼される病院づくりを行うために、「病院ボランティア」としてお手伝いいただける方を募集しています。

☆ボランティア活動の内容

- ・ 外来のお手伝い
- ・ イベントの企画・運営のお手伝い
- ・ 病院美化、植込みの手入れ
- ・ 駐車場整備
- ・ 絵手紙づくり
- ・ 健康教室のお手伝い
- ・ シーツ交換・洗濯物たたみ
- ・ ホームページの更新のお手伝い など

●ボランティアに関するお問い合わせ・お申込みは…  
TEL 0766-56-2156 担当/木倉(きくら)



編集後記

この広報誌は地域の皆様と真生会富山病院をつなぐ掛け橋として、病院職員のみならず地域の皆様のご意見、ご質問などをどんどん掲載していきたいと思ひます。生まれたばかりの広報です。どうか暖かくご支援ください。(N・E)

## 情熱の白衣

連載インタビュー 1

なた づか とし き

内科医師 **刀塚 俊起**

インタビュー 看護師 中井 ともこ

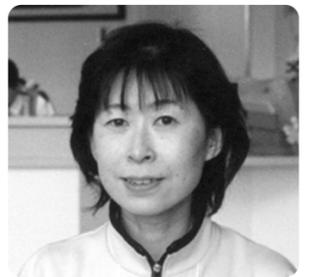


なた づか とし き  
**刀塚 俊起**

専門分野：血液疾患・リンパ増殖性疾患・膠原病  
ICD（感染対策医）  
神戸大学 第三内科  
医学博士・日本内科学会認定医

血液疾患、感染症治療に力を入れて取り組み、内科医師、医療の枠を越え、医療スタッフと一緒に、健康で、安心できる地域医療の向上に努めたい。また、できるだけゆとりの時間をつくり、院内コンサートで発表したいと思っています。

地域の皆様の健康と、  
医療への安心と満足を  
とことん追求し  
実践して行きたい。  
実践あるのみだと思えます。



在宅ケア室室長 中井 ともこ

「看護師として訪問看護をされていて、介護なさっている家族の人達の介護疲れをどうするか気になっています。介護者の方にもコンサートに来てもらって、介護疲れを癒してもらえればうれしいですね。また、地域から、介護者のケアをするボランティア活動があってもいいと思うので働きかけてみたいと思います。」

——現在、刀塚先生は、内科担当ですが、専門分野は何でしょうか？  
私は、貧血などの血液疾患、膠原病の診断、治療を行っています。ほかに、感染症です。感染症の専門家が少ない現状ですので、専門のひとつとして感染症に力を入れ研究し、患者さんに還元していきたいと考えています。

——今、院内感染対策として具体的にどのような活動がなされているのでしょうか？

院内感染の問題は、マスコミなどでよく取り上げられ、病院の管理上重要なところといわれています。  
日本の病院の院内感染対策は、欧米より約三十年遅れているといわれています。実際、私たちの院内感染に対する認識も低かったとふりかえっています。ここ三、四年で日本の院内感染への意識が高まっています。厚生労働省から院内感染対策への通達もあり、ちょうど平成十二年に、真生会富山病院

ができたときから、安全器具の導入など院内感染対策を進め、クリアできていると思えます。

——刀塚先生は、どういう理由で医師という職業を選んだのか、刀塚先生にとっての医師とは？

私が進路を決める頃、クラスの半分以上が医師を志望していましたので反対に、反抗心がめばえまして、医師に絶対になるものかと、京都大学の工学部に入ったのですが、この学生の時に、人のためになる事、特に、病に苦しんでいる人を助けたい、と180度方向転換して、医療の方に進みました。真生会富山病院の理念に『仏法精神に基づいて、安心と満足の医療をめざす。』とありますが、慈悲の精神ですね。慈悲といいますが、苦しみを除き、幸せを与える、抜苦与楽といえます。病に苦しんでいる患者さんの苦しみを楽にしてあげたいという自然な気持ち。肉体の苦しみ、心の苦しみも解決してこそ

本当の幸せになると、それが仏教の目的でありますので、その仏法精神に基づいた医療を実践しよう心掛けています。

——仏法精神に基づいた医療ということと患者さんどのように実践していますか？

患者さんが真生会富山病院に来てよかったという気持ちになっていただくのが一番大切なことだと思います。心の不安とか、精神的な苦痛が解消されるよう、病院と気持ちよく関わっていただきたい。それには、笑顔で接し、笑顔で帰られるような外来診療を心掛けています。患者さんが心を開いて、悩みとか心配事とかを相談して下さること、それが第一歩かと思っています。そこから信頼関係が生まれ、安心して診療を受けていただけるということになると思えます。専門分野はもちろん必要ですが、プライマリケアができた上での専門医でないという医療はできないと思います。生活習慣病などは、トータルで診断できないと適切な治療はできません。お年寄りの場合、たくさん疾患を同時に抱えておられますので、ある一部を治したら、かえって他が悪くなるという場合もあります。トータルで見える目が重要ですね。特に、精神的な分野の治療が欠けていると思います。患者さんの生活背景とか、どのような精神状態なのかですね。他の病

院で異常なと言われて来られた患者さんで、抗うつ剤で治った方がたくさんあります。いろいろな病院を廻ったけれど治らなくて、結局、原因はうつ病だったと。  
患者さんの顔つき、問診とか、トータルで診察すること。そういうことを内科医師は知るべきではないかと思えます。

——内科医として、これからやらなければいけないテーマ。やろうとしている事があれば教えてください。

地域の医師として、社会背景と地域全体の患者さんの健康を守っていくということ。病院に来られた方を診察して、病気が治ったら帰っていただくのが普通ですが、それだけでなく、退院後どうなっているのか、単に病院の中だけでなく、在宅医療を含めた地域医療を展開していかないといい医療はできないと思えます。

中野前院長が実践された、「病で苦しんでいる人があれば早く楽にしてあげよう、診療に来られない人には、こちらから行ってでも診療しよう。」その心です。

——先生は、医学博士として、外国へも研究論文を発表していますね。

大学にいる間は、研究者の道を歩もうと思ったこともあり、造血器腫瘍学、抗がん剤による化学療法などの研究を

しておりました。医学博士といっても患者さんにとって直接関係ないので、患者さんがそれを評価して、安心して治療を受けてくださるならそれはそれで良かったと思います。信頼関係につながればいいと思います。

——先生は、九州熊本出身と伺いますが、富山、射水に住んでみて、県民性の違いなどありますか？

私は、十八才の時に九州から関西に行きました。その土地、その土地の歴史的背景があり、歴史的なものから培われた県民性があると思います。九州の人間は温かく、とにかく人がいい。関西に出てきた時は、ヨソモノというか、親しめないバリアを感じました。簡単に受け入れられないところがあったんですね。富山県の方は、雪国のためか我慢強く、粘り強さを感じました。不屈の精神で大仕事を成し遂げられた立派な方がたくさんいらっしゃいます。熊本県人には無いところですね。

——院内でコンサートが開かれましたが、どういふいきさつがあったのですか？

学生時代、心療内科の明橋先生と一緒に、趣味で、曲を作り、ギターを弾いて歌っていました。医師になり、研究とか忙しくて時間が無く出来なかったのですが、十年ぶりにギターをひっぱり出し、弾いていると、今は、医師という職業にはまっけてしまっけて固い頭



なっってしまった。学生の頃は、もっと柔軟な発想をしていた、と痛感しました。ヘタなりに十年ぶりに明橋先生と、コンサートをやろうということ。二年前に開きました。特に心療内科の患者さんが、明橋先生のピアノ演奏を身近に感じ、医師と患者さんとのカベが無くなり、演奏のヘタなのが見え、癒しと音楽療法で、患者さんとの交流ができたかなと思います。昨年は、残念ながら一週間前まで、練習不足で出来るかどうかからなかったのと、案内不足で、参加者が少なかつたのですが、音楽演奏は、自分自身のリハビリのために続けようと思えます。今年も機会があれば、患者さん、地域の皆さんを招待して、院内コンサートを開きたいですね。

——患者さん本位の医療と、予防、健康に関する情報もこれから大切だと思えますし、良質な医療を提供していきたいと思えます。

長野県で、医療費が激減しています。地域ぐるみで予防医療に力を入れるとそうなると思います。射水地域の皆さんの健康管理を徹底すると、疾病率が減り、寝たきりになるまでの期間が伸びて、平均寿命も伸びます。いつまでも元気であるためにも予防に力を入れていきたいと考えています。年を取ってくると、精神的な緊張が大切ですから、目標を持って、ボランティアなどで外に目を向けて活動されるものではないでしょうか。そういう地域全体の力をかりて、健康なまちづくり、医療を続けられればいいですね。患者さんの安心と満足をとことん追究し実践していく。従来の医療のカベを取り払っていかないとそれはできないと思います。地域の皆さんが健康な毎日を送れるように、できることからやっけていきたい。実践あるのみだと思えます。

今後、各科の医師のインタビューを掲載し紹介していきたいと思えます。

# 花粉症について

くしゃみや鼻水、目のかゆみなどのつらい症状の花粉症ですが、正しい知識で花粉症の症状を軽くし、予防しましょう。



耳鼻咽喉科 眞鍋 恭弘  
 医師 眞鍋 恭弘  
 専門分野：耳の手術、いびき手術、アレルギー性鼻炎のレーザー治療、日本耳鼻咽喉科学会専門医、医学博士

スギ花粉症は、2月中旬から4月下旬にかけて飛散する花粉を吸い込んだために起こる病気です。空気中を飛散している花粉を鼻から吸い込んだり、目に付着して、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどの症状が起こります。花粉が引き起こす症状は鼻や口だけでなく、のどのかゆみや咳の発作を起したり、顔など露出している皮膚に花粉が付き、顔がほてったり、ヒリヒリしたり、湿疹や皮膚炎が起こることもあります。その他、頭が重くなったり、ボーッとしたり、倦怠感や熱感、イライラなどの全身症状が起こり、肉体的にも、精神的にも、大きな苦痛を伴い、仕事や勉強の効率を著しく悪化させます。

知っていることが、予防対策を講じる上で大いに役立ちます。これらの花粉が鼻から吸い込まれ、鼻の粘膜に付着すると、抗体が抗原に反応して体に侵入した異物を排除する働きをします。くしゃみ、鼻水、鼻づまりを起し異物の侵入を防ぎます。ところがアレルギー体質の人は、抗体の産生を抑制する遺伝子を持つていないために、抗体がどんどん増え、水準を超えると、激しくくしゃみや発作や、鼻水、鼻づまりなどの花粉症の症状が出るようになります。

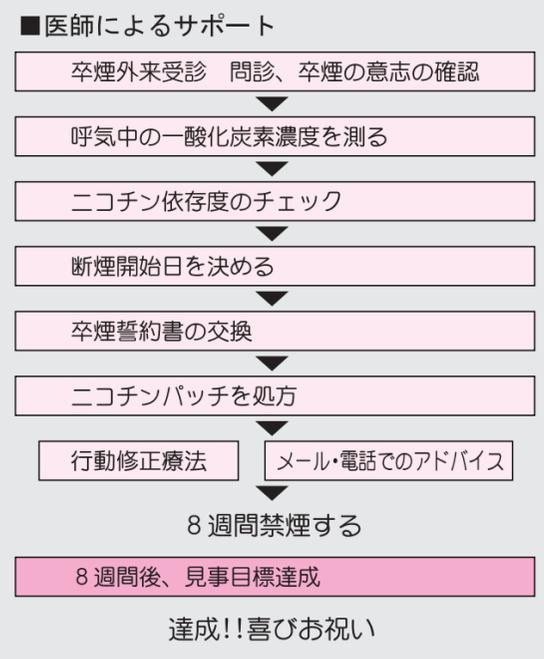
また、あまり知られていないのが「花粉症予備軍」です。花粉症予備軍とは、花粉症を発病する直前まで体質が変化している人たちのことです。ずっとかかったことがなくても、予備軍の人はある年に突然花粉症が発症します。30〜40歳代に予備軍が多く、「私は、大丈夫（な）と安心はできません。自分が予備軍であるかの判断は、家族や親類にアレルギー体質の患者さんがいるかどうかひとつの目安になるでしょう。」

こうした人たちが花粉症にかかったときは、症状に気付きにくいものですが、鼻が詰まったり痛がゆいだけの場合

# 卒煙外来の診療方法



卒煙したい患者様をサポートする外来です。無理やりタバコをやめさせる外来ではありません。すぐにもタバコをやめたいという希望をお持ちの患者様が対象となります。医師による効果的なプログラムで患者様の卒煙をお手伝いいたします。



WHO (世界保健機関) によると、「タバコは病気の原因の中で、予防できる最大の単一の原因」とされています。

断煙開始後は、禁断症状を和らげるニコチンパッチを処方したり、習慣性喫煙を回避する行動修正療法、場合によっては、メールや電話によるアドバイスを行います。二週間に一度受診して頂き、断煙状況を確認します。

個人差はありますが、おおよそ二ヶ月で卒煙完成、その後は卒煙の喜びを心身共に年々感じて頂けると思います。

卒煙外来は、完全予約制となっております。お電話か、各科受付窓口でご予約ください。また、すべて自由診療で、費用は、二ヶ月間の総額で約三万三千元ほどです。この金額は一見高いようですが、毎日タバコを一箱吸う方であれば、半年分のタバコ代よりずっと安いといえます。

# 卒煙外来について

「タバコが健康か、どちらを選びますか?」「今まで何度か、禁煙に失敗したことが」「健康に悪いとわかっているにもかかわらず、あきらめる前に、まずは卒煙外来へ!」



内科(健康増進外来) 大淵 尚  
 医師 大淵 尚  
 専門分野：生活習慣病の食事療法、運動療法、肥満症治療、代替医療、医療情報学、日本医師会認定健康スポーツ医

「卒煙外来」とはちょっと聞きなれない名前かも知れませんが、これは一般に禁煙外来と呼ばれているものですが、なぜこのような名前にしたかと言うと、「本当は吸いたいのには、他人から禁止されてタバコをやめる」消極的な「禁煙」ではなく、「タバコの恐さを知り、自ら進んで、タバコに操られていた人生を卒業する」積極的な「卒煙」のお手伝いをさせて頂きましたからです。

自らの今までの人生を振り返り、新しい自分に生まれ変わることが出来ます。医師として、その過程に立ち会えることはとても嬉しく、また、これほど楽しいことはありません。

実際の診療内容を簡単に紹介します。

まず最初に、今までの喫煙歴や持病の有無、禁煙挑戦歴、家族構成などの問診を行います。次に呼気中の一酸化炭素濃度の測定、ニコチン依存度テストを実施します。場合によっては他の検査や診察を追加することもあります。そして、最後に断煙開始日を決め、卒煙誓約書の交換を行います。

**タバコをやめるといいこといっぱい**

- 目ざめがさわやか。
- 呼吸が楽になる。
- 肺ガン、心筋梗塞の危険が激減する。
- 夜中の咳や痰がなくなり安眠できる。
- 肩こりが軽くなる。
- 風邪にかかりにくい。
- 味覚、臭覚が戻り食べ物おいしい。
- 人に不快感を与えない。
- 周りの空気がきれい。
- おこづかいが減らない。
- 仕事や家庭で自信が付き、人生観が変わる。

# 花粉なんかこわくない

① 専門医に診てもらおう。  
 くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどがあつたら、何が原因なのか調べてもらいましょう。「どんな時に、どんな症状が起きるか」詳しく医師に伝えて下さい。あらかじめ症状をメモしておくで問診の目安になります。

② 正しい治療を受けよう。  
 抗原を調べるための検査をし、原因が分かったら、次は治療です。患者様の症状や、体質に合わせた治療が始まります。

③ 専門医とよくご相談ください。  
 薬を飲むと眠くなるとか、症状がなかなか改善しないといったことは、専門医と相談しましょう。専門医の説明をよく聞くことも大切です。

④ 花粉症の治療は続けることが重要です。  
 少し症状がやわらいだからといって安心できません。花粉症が再び襲いかねません。また、すぐに治らないからと治療を止めてしまうと、いつまでも花粉症に悩まされることになってしまいますので、専門医とよく相談して適切な治療を受けることが重要です。

**花粉がポイント**

**花粉が多く飛ぶ日**

- 晴れて気温が高い日
- 乾燥して風が強い日
- 雨の日の翌日で晴れた日

**花粉が多く飛ぶ時間**

- 気温が上がって飛散し始め、お昼前後に飛散量が最大になるので外出には注意。
- 夕方、気温が下がる頃、上空に飛散していた花粉が地上まで下がってくるので、花粉量は増加します。

⑤ 生活の中で花粉症にならない工夫をしよう。

- 窓を閉め、室内に花粉が入らないようにする。
- 外出をひかえ、メガネやマスクを着用する。
- 衣類についた花粉をはたき落とす。
- 部屋の湿度を保ち鼻粘膜を乾燥させない。
- 部屋を清潔にする。
- 服はスベスベした素材を選ぶ。
- ストレスを避け、睡眠を十分にとる。
- 洗濯物を外に干さない。

などで花粉を吸入しない工夫をすれば、症状を軽くすることができます。



患者様から

脳梗塞体験記

とみたこうき  
富田光輝様



「一日も早い社会復帰をめざして、リハビリに励んでいます。生活習慣病は恐ろしいです。」と語る富田さん

私は一昨年の四月に脳梗塞に見舞われて、現在は真生会富山病院においてリハビリ療養中の身である。私の脳梗塞発症の主な原因は高血圧、高血糖、高脂血症という診断結果であったが、後になって思えば、その他に一般に危険因子とされる肥満、喫煙、ストレス等も充分に心当たりがあった。正に生活習慣病の恐ろしさを身をもって体験した次第である。

発症当時、私は首都圏に単身赴任の状態であった。それは一昨年の四月二十一日(日)の早朝三時頃に起きた。私は一人住まいの自宅でトイレに行こうと左側から身体を起そうとしたが、それができずに右側から起きてトイレを済ませ、身体の変調を微かに感じつつも再び布団に入り眠った。三時間後に再び尿意を催し、最前の事に若干の不審感も覚えていたので再度左側から起きようと試みたが、それは完全に不可能であった。

ここで初めて、正体不明の一大事がこの身に起きた事に気付いたのである。左半身が手も足も次第に動かなくなっていく、ロレソもあやしくなっていく。その日は大坂への出張移動日であったが、幸いにして意識だけは未だはつきりしていたので、それからの数十分間に亘る自分の行動は、独り自問自答しつつの、迫り来る『身の危険』に対する時間との闘いであった。

かくして、運ばれた救急病院の応急処置室で直ちに点滴が始まった。そこで脳梗塞は明け方の発症が多いんだよねあ...という当

直医同士の会話を、カーテン越しにベッドの中で耳にしたのを今でも覚えている。これが生まれて初めて味わう療養生活の始まりであった。

この救急病院で四十日余りの入院生活を送ったが、左半身が完全麻痺のために車椅子による院内生活であった。突然に襲われた出来事に、当初はただ呆然自失の心境で数週間が過ぎていった。その後次第に、事の成り行きとその発症前後の落差に気づき始めて「この身体は一体どうなるのか?」、今後の仕事や生活に対する不安に苛まれ焦燥感が頭から離れなかった。

そしてその無念さに勇気を取り、ベッドの中でそっと涙を流した。埼玉県が運営する総合リハビリテーションセンターへ移った。ここで私は、リハビリというよりはフットネスクラブか大学時代の合宿生活にも似た思いで新たな入院生活を送った。これから私の新たな巻き直し人生が芽生えたのである。ここでは、実に楽しく前向きで有意義な療養生活を送る事ができた。

富山にはその年の九月始め



に帰って来た。そこで、発症以来半年足らずの間に起きた出来事が自分の人生や家族にどれ程の影響があったのかを、改めてじっくりと考えてみた。そして多くの方々から戴いたお見舞いやご厚情に對してお礼の手紙を書いた。会社への礼状、知人への挨拶、旧友への報告、そして一緒に過ごした患者仲間へ。これで『心の整理』が完了した。

人生初めての療養生活でいろいろな事を学んだ。今まで見えなかったモノが見えてきた様な気がした。

①心のケア/突然の事故や病魔に襲われた者は、肉体的な患部の手当もさる事ながら、早い時期に精神的な安定を取り戻せば自分で治りたいという治療力が自然に湧いてきて、それが治りを早めるのではないかと。今後は普段からも心の健康にも留意したい。

②脳梗塞が教えてくれたもの/私の場合その原因は無知、怠惰そして自信過剰等が災いとなった。高血圧、高血糖、高脂血症の傾向は比較的若い頃から言われていたが高を括っていた無知。仕事に紛れて自分の健康面に対する注意を怠っていた怠惰。若い時から自身に自身があり、ストレスにも強い男と思いついていた(自信過剰)。

③(かかったからには病は自分が治すもの。お医者さんや看護師さんはその道標となって手助けをして下さるのである。心癒すのは自分である) ④現代病からの教訓/私は辛うじて戦前の生まれである。壮年期に飽食の時代に遭遇し

作業療法士から



いわい まさみ  
岩井 雅美

て以来、貧しかった時代の幼い体験から暴飲暴食に魅了されてきた様な気がする。人間何事も程々の『中庸の精神』が大切である。脳梗塞発症以来今日までの約二年間、一度も風邪をひいていない事に気が付いた。そして現在は、より充実した社会復帰を目指して、当病院にリハビリ通院をしながらの療養生活を送っている。私の現在の病状は食餌療法と薬事療法、そして運動療法によって血圧・血糖値・コレステロール値等はほぼ正常値の範囲を維持している。

当病院にお世話になって一年半の歳月が流れて思う事は、この病院の先生や看護師、技師、事務職、その他のスタッフ全員が、親切で礼儀正しい事である。私は仕事の関係で北は北海道から南は九州、石垣島まで行き、客筋や知人の見舞で訪れた病院をいくつも見てきたが、この真生会富山病院のような明るく、陰気臭さが無く、正に『従来までの病院』には無い快い雰囲気を持った施設はあまり記憶にない。

最後に、いつもお世話になっている病院スタッフの方々に感謝と、ここまで回復できました私へのご加護に對して、厚くお礼を申し上げます。

おさえて予防治療ライフ



Q 子供が転んで顔を打ち、歯が抜けてしまいました。どのように対処すればよろしいでしょうか。

A 歯が抜けてしまっても戻せる可能性があります(「再植」と言います)ので、抜けたしまった歯は、決して捨てないでください。取れた歯は牛乳の中に入れて、それを持って歯科を受診してください。水道水は大事な歯を傷つけ、戻した後の定着が悪くなってしまうます。取れた歯を水で洗った水につけたりすることは避けてください。



Q 近視矯正手術レーザーシリックとはどんな手術ですか?最近、プロゴルファーのタイガー・ウッズがレーザーシリック手術を受けたと本で見ました。

A エキシマレーザーを照射することにより角膜を切除して屈折力を変え、近視・乱視を矯正する方法です。ドライアイや結膜炎のためコンタクトレンズが使用でき

患者様ご自身やご家族が、病気になる時の不安、悩みに対して当院の医療スタッフがお応えします。

ない方・視力の左右差が大きな方・自衛官や消防士などの職業の方には有用な治療法です。

それ以外にも眼鏡・コンタクトレンズから解放されたいという希望の強い方は考慮に値すると思われま。もちろんリスクのない手術はありませんが、コンタクトレンズにもリスクがあることは一般には知られていないように思います。手術可能かどうかは眼科での検査が必要ですが、興味のある方は目の健康診断を兼ねて眼科の診察を受けてみてはいかがでしょうか。

Q 先日、病院のロービーでACLSという掲示を見たのですが、何のことですか?

A それは、患者様により最新の治療を提供するため、ACLSを習得するセミナーを開催した時だと思えます。大阪医科大学附属病院救急医療部 JAIN ACLS course ディレクターの小林正直先生、インストラクターの方々、当院の医師、看護師、県内の救急救命士、見学者を含め総勢百五十名近くが参加しました。迅速で安全な除細動は

どうあるべきか、また自分の行動、チームとしての行動はどうかを、医師、看護師、救急救命士など職域を越えて、習得しました。今後、射水地域の救急医療、集中治療の向上に貢献できますよう、引き続き定期的に開催していきます。



※ACLS...心肺機能停止の患者様が救急外来に搬送されてきた、あるいは目の前で患者様が急変したなど、「病院内において心臓も呼吸も停止した患者様を目の前にした時、いかに蘇生を行い、治療を行うか」薬剤や除細動器を利用した心肺蘇生法のことを言います。ACLS(Advanced Cardiovascular Life Support)は「二次救命処置」と訳されています。

私のあめ SPOT



診療放射線技師  
しんばち  
神初あゆみ

私のおすすめしたいお店は「ラーメン工房」です。南郷大橋を富山方面へ行くと左手に見えてくるごちんまり(失礼!)としたお店です。オススメは「ちゃんぼん」。熱々のトンコツスープを一口飲むと、野菜や魚介など具材のうま味が口いっぱいに広がります。ボリュームもかなりあるので、満足度は最高です。家族でよく行きます。一度食べると忘れられない味なので、おすすめします。



「ちゃんぼんはもちろん、女性向きに、ラーメンがパスタに変身したオリジナル商品、トマトベースのイタリアンラーメンを一度食べてみて」とご主人。やみつきになる味は、県外のファンも多いとか。



ラーメン工房  
大門町小泉203-3  
TEL 0766-52-6648  
営業時間:(平日) 11:00~15:00 17:00~22:00  
(日・祭) 11:00~15:00 17:00~21:00  
定休日:毎週火曜日  
駐車場完備